

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いわでみんなの家		
○保護者評価実施期間	令和6年10月10日		～ 令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・プログラムや子どもの状況に合わせた環境設定を行い、集団・個別の両方の支援を組み合わせる支援を行っている	・子どもの状況に合わせて環境設定(活動スペースや音など)に配慮した環境設定を行い、子どもたちが活動しやすい工夫をしています	・障害特性を理解する、子どもの特徴について理解することでより子どもたちの支援環境の設定をしやすくなるので内部研修などを実施し子どもたちにあった環境づくりを行っています
2	・子どもたちが自主的に活動を選択し、自己決定を行いながら様々な体験ができる支援を行っています	・的に作ることで自己決定を行うことで自主的に活動に参加できるように促しています。 ・様々な体験を行うことで失敗から多くのことを学ぶ経験をし自己効力感を高めている	・子どもたちがやってみてみたい、楽しかった、と感じる支援プログラムを検討し視覚化することで子どもたちが自分で選択、自己決定できるように機会を作っていきます ・色々な体験(クッキング・体験学習など)を取り入れ様々な体験ができる企画を計画します
3	・視覚支援の充実	・一つ一つの活動などが見てわかる視覚支援を作成して子どもたちに見てわかる環境の構造化と見通しが持てる視覚支援を作成し使用しています	・子どもたちの活動にあった視覚支援を作成し支援者が視覚支援を使う意味・使い方などを検討しながら的確な視覚支援を使い子どもたちの支援を行います

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信	・法人SNSなどがあるが上手く活用できていない	・職員が積極的にInstagramなどのSNSを活用して活動報告などをリアルタイムで発信することで保護者や地域に対する情報発信を行っています
2	・避難訓練の充実と情報発信	・年間2回は避難訓練などを実施しているが保護者に対しての情報発信ができていない ・南海トラフ地震などを想定して保護者も参加できる訓練の実施ができていない	・避難訓練の実施状況や実施した様子などをSNSを活用して保護者にも訓練実施の状況を知ってもらう ・保護者やきょうだいなども参加した避難訓練や防災に関する学習会などを企画し自然災害時の対応について知ってもらう機会を検討します
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いわてみんなの家

公表日 令和7年3月17日

利用児童数

41

回収数

38

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3	1	7	活動内容に合わせ、集会所を利用したりと工夫されていると思います。	・ご意見ありがとうございます。子どもたちが活動しやすい環境設定をこれからも続けていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2	0	14	環境や体制は、実際に見ていないので分かりづらいですが、信じてお任せしています。	・子どもたちにとって安全で安心して利用できる人員配置をこれからも行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	1	0	6		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	0	0	5		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	2	0	3		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	0	5		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	1	0	0	到達目標があいまいで、評価できないと感じる。 懇談の時間を設けてくれているので、課題の共有が出来ていると思う。	・利用する子ども・保護者の意向に沿った支援計画の作成と具体的に分かりやすい目標設定した支援計画の作成を行います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1	0	5		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	1	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	2	0	6		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	22	6	1	9		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	2	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	0	1	0	回数の減少で機会がない。	・支援計画の説明など面談を通して丁寧な説明を行います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	3	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	31	6	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	1	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	4	0	3		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	6	0	7		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	3	0	4	保護者の交流や支援はされているが、きょうだいの支援が欲しい。	・保護者やきょうだい参加できるイベントを実施していますがよりきょうだい楽しく参加・交流できる企画を計画します	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	2	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	1	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	1	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2	0	7		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	2	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	5	0	1	慣れ親しんだ先生方が退職されたこともあり、今日は行かないと言う日が増えました。	・信頼できる支援者が一人でも多くになれるように丁寧な支援を行います。 また、利用が楽しみになるような活動・支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	1	0	2		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	いわでみんなの家				公表日	令和7年3月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・活動に応じて児童が利用するスペースを分けて活動しやすい環境を整えています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・適切な人員配置を行い、利用児童の安全に配慮した人員配置を行っています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・室内を視覚的構造化を行い子どもたちが見てわかる環境設定を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・毎日の清掃や消毒などを行い衛生面にも配慮した空間づくりを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・気持ちを落ち着かせることができる配慮を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・職員会議を実施したり、適宜必要に応じて職員間での話し合いを実施しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・評価アンケートを実施しご意見をいただき改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・毎日の業務の振り返りや毎月の職員会議において意見を把握し改善にしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・今後外部の評価を受け業務改善などを行っているのか法人として検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・内部研修・外部講師を招いての研修の実施。資格取得研修への参加を行っている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・公表のための資料を作成し保護者説明会を毎年実施し公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・相談支援員・OT・STによる検査評価を実施し個々の子どもにあったアセスメントの実施を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・支援計画作成案を作成後ケース検討を行い色々な視点で支援計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・子どもの課題や目標を共通認識として共有し支援計画に沿った支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・WISC検査やST・OTの運動検査結果や専門的な視点からのアセスメントを行い支援を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・ガイドラインに沿ったプログラムや5領域を支援の柱とした支援計画を作成し共有事項として職員間で共有し支援を実施しています。支援の中での目標設定が難しい場合には職員間での話し合いを行い支援計画の見直しなどを行い支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・プログラム毎に立案書を作成し職員で共有しプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・子どもの様子や子どもたちと計画してプログラムの変化を行っています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの様子を確認し個別活動や集団活動の組み合わせを行い支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・常勤職員やパート職員とのミーティング時間を毎日作り支援内容や前日の子どもの様子などを伝えたり、引継ぎノートを活用して情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・個々の子どもの経過支援を作成して振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個々の子どもの様子を経過支援として作成し日々の子どもの変化について改善などを実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・適切な期間の中でモニタリングを行い支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・基本活動・5領域を合わせた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・支援者が子どもの意見を聞き、時には代弁して子どもたちが自分たちで考え、自己決定できる支援を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・管理者・児発官などが関係機関との会議などに参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・法人協力医療機関の主治医を招いてのケース検討会などに参加し子どもたちに合った支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・年度始まりなどには学校との連携を行い下校時間の変更などの連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・相談支援専門員による引継ぎや保育所等訪問事業による引継ぎなどを行い情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・必要に応じて情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの連携を図り支援方法やセンター内の研修に参画しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域の子どものための交流の場を作り、公共の場を使用して活動を行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			・毎回行われる協議会への参加を実施しています。また部会の中で行われる研修などに管理者や児発官が参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎日の送迎時に様子を伝えたり、個別の面談を行い子どもの様子や発達の状況を話し合っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者向けの学習会を定期的に開催しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に丁寧に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・支援計画作成前にアセスメントを行い、利用児童・保護者の意向を確認し作成を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別面談を行い支援計画の内容について説明をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて面談や関係機関との連携を行い保護者を一人にしない支援を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者やきょうだいなど誰でも参加できるイベントを開催し交流する機会を作っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情に関するマニュアルを作成し、マニュアルに沿って迅速に対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月におたよりを配布したり、公式SNSを活用して情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・十分に留意して対応しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・支援者が言葉を代弁したり、おたよりなどをわかりやすく説明するなどを行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・シルバー人材センターとの連携を図りながら地域との連携を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルについて重要事項等説明所などで説明を行い、マニュアルに沿った訓練を行い、情報発信を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・災害時のBCPを作成しています。BCPに伴う防災訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者からの聞き取りと医療機関からの指示書を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーがある場合には主治医により指示書の提出をお願いしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画・安全業務マニュアルを作成し送迎時などの安全に配慮した支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全連絡カードを作成し保護者との情報共有を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内で作成を行い、共有を行い防止策・解決策について話し合いを行い支援の改善を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待及び身体拘束にかかる委員会を設置しており、虐待・身体拘束について必要な研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束にかかるマニュアルに沿って適正な対応を法人全体で取り組みを行い支援計画に記載しています。		